

■初版第1刷をお持ちの方

頁・箇所	誤	正
P3 2～3行目	「黒質網腰部」	「黒質網 <b>様</b> 部」
P8 サイドノート (バリズム) 下から3行目	「手を捻り運動などをきたす疾患は」	「手を捻る <b>る</b> 運動などをきたす疾患は」
P12 下から4行目	「正中部に2つの浅い溝に区切られた虫部と」	「正中部に2つの浅い溝 <b>で</b> 区切られた虫部と」
P13 図4		<b>別添あり</b>
P14 3～4行目	「前庭神経核から二次感覚ニューロンから入力を受け」	「前庭神経核から二次感覚ニューロン <b>より</b> 入力を受け」
P15 11行目	「これらの軸策は」	「これらの軸 <b>索</b> は」
P16 下から2行目	「その軸策は」	「その軸 <b>索</b> は」
P28 MEMO		タイトルとして太字で「 <b>ゲートコントロール現象</b> 」と入れる
P29 3行目	「黒質の損症」	「黒質の損 <b>傷</b> 」
P34 表2	「体軸回旋の現象」 「腕振りの現象」	「体軸回旋の <b>減少</b> 」 「腕振りの <b>減少</b> 」
P40 表1	「吃(どもり)」	「吃 <b>り</b> (吃音)」
P45 2～3行目	「図るように薦める」	「図るように <b>進</b> める」
P48 2～3行目	「後方または側方に動かしから」	「後方または側方に動か <b>して</b> から」 あるいは 「後方または側方に動か <b>しなが</b> ら」
P50 2)の3行目	「視覚手がかり」	「視 <b>覚的</b> 手がかり」
P53 表2 4. 5. 6. のそれぞれ3と4	「3—11～30秒」 「4—30秒以上」	「3—11～30秒」 「4— <b>31</b> 秒以上」 あるいは 「3—11～ <b>29</b> 秒」 「4—30秒以上」
P62 1.の下から6 行目	「深部感覚に問題があれば前庭迷路性運動失調, 問題があれば, さらに」	「深部感覚に問題があれば前庭迷路性運動失調, 問題が <b>なければ</b> , さらに」
P62 図2		<b>別添あり</b>
P66 3)の5行目	「椎間間隙の狭搾」	「椎間間隙の狭 <b>窄</b> 」
P69 1)1行目	「手症状」	「 <b>主</b> 症状」
P82 図1		<b>別添あり</b>
P83 図2	「participation limitation」	「participation <b>restriction</b> 」
P88 図9		

15 レクチャー理学療法テキスト『神経障害理学療法学Ⅱ』正誤表-初版第1刷をお持ちの方

P94 2) の1行目	「生体反応のために拍出量が増加して」	「生体反応のために心拍出量が増加して」
P94 覚えよう	「二酸化炭素」(2か所)	「二酸化炭素分圧」
P125 MEMO P130 2. 2) 3行目 P144 MEMO	「障害者自立支援法」	「障害者総合支援法」